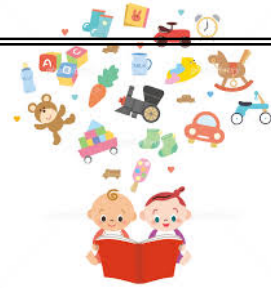




絵本のよみきかせ

～0歳からの絵本との出会いを～



赤ちゃんのからだの成長にミルクが必要なように、ことばとところを育むためには、あたたかいぬくもりの中で優しく語り合う時間が大切です。その時間に絵本を利用してみませんか…

赤ちゃんに絵本？

赤ちゃんへ絵本の読み聞かせは、お母さんお父さんと赤ちゃんが向かい合っ目と目をあわせて、言葉がけをするところのふれあいが目的です。



読み方のポイント

- ・お子さんのきげんの良い時に行いましょう
- ・スキンシップが大切です
- ・お母さんの顔ばかり見ているでも大丈夫(絵本を読むのが1割、表情を読むのが9割)
- ・赤ちゃんの表情が見える位置に座りましょう

絵本を選ぶポイント

- ・色がきれいで絵が大きくはっきり描かれている
- ・リズムがある言葉が出てくる
- ・身近なものが出てくる



赤ちゃんにとって絵本はおもちゃ



赤ちゃんの読書は、お口に持って行って噛む事から始まります。聞いて眺めている段階から、絵本を手に持って噛んだりめくったり、落としたり、拾い上げたり…と触覚からの楽しみも加わってきます。絵本のつくりも、指先の発達が十分ではない子どもにも扱いやすいよう、厚くて丈夫な紙が使われ、角は丸くカットされています。めくることが楽しい、パタパタするのがおもしろい。同じページばかりを見たがるのも珍しいことではありません。この「楽しい気持ち」が絵本への入り口です。「めくる」「さわる」をたっぷり！それが、絵本を好きになる1歩です。